

健胃とスミ散
小野常治謹製

蚊取線香は
櫻印が一番

小野屋薬店
電話一四四番



体温計 関内薬局
寒暖計 電話三〇番

東京行進曲

帝都流行の
ジャズソング
波浮の港の歌手
佐藤千夜子嬢が
心地良き
管絃伴奏で
ビクターレコードに

會田時計店
平町四(電三六三)

責任販賣

去る三月以來弊店發賣の大人革靴にて萬一三ヶ月以内に破損せし物有之候節は御遠慮なく御持參被下度即時新品と御取替申すべく候

ツルヤ

ユラノスケ粕取焼酎發賣



永山酒造店小賣部
電話二〇七番

器械 體溫計無料検査

皆様のお手元まで御覧に入れました引札の如く今回最新鋭秀なる検定器を設置し無料で検査いたしますから御遠慮なく御持參を願ひます
(検査日毎月十日)

西村薬舗
電話三番

耳鼻咽喉科専門

合津醫院
平町仲田町(電話五五九)

御進物には

ヤマフルの商品券が一番

醤油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

山崎合名會社

福島縣平町
電話(營業部)一〇番
(製造工場)二七番



時計貴金屬眼鏡各種
蓄音器
ビクターレコード
新光堂時計店へ
電話七三六番

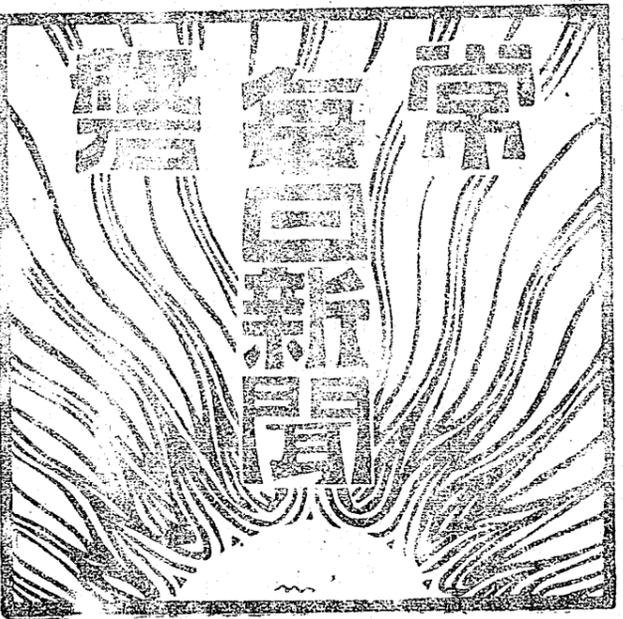
營業種目 石炭 コークス 玉炭

- 磐城第一ノ石炭 トシテ自他共ニ推稱スル
- 一、正味十貫目入 壹俵 金六十五錢
- 一、日本第一番評番ノ良イ東京瓦斯コークス
- 一、コークス 壹俵 金壹圓三十錢
- 一、木炭ノ三倍御徳用ナ九通ノ玉炭
- 一、玉炭 大箱壹箱 金 貳圓

電話二二三七番

阿部石炭商店

公債、兩替 多田井ワカ商店
平町大工町



刊夕日七十二月八

定一部金貳圓 廣一五錢十二
一ヶ月五錢 廣告一行一錢
郵税五厘 料五十錢
日出版大衆 福島縣石城郡下長橋町三五
發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

失業恐怖の深刻化

(五)

社會政策調査の設置も結構である、決して無事の長物であるとは申さない。乍然飢えたる者渴したるを以てにして徒らに米作の改良や水道の設計を議論して居ても手から口への生活をして居る無産大衆の失業者に取て夫に何等の有難味があらう。恐らくは六ヶ月の調査期間の完了を待たずして職と食とに飢えたる失業無産階級は余解禁の有難い御念佛

を懸き乍ら往生して仕舞うであらう

本篤度を以て完成する帝國復興事業に關係して居る從業員の數だけでも約一萬五千に上ると聞て居る。之を收容する唯一の捌口は地方の土木事業と鐵道建設改良事業とであつた然るにや此捌口は他人を收容するどころか自分の所から續々失業者を吐き出すとして果して生活の安定なくして果して思想の安定のみを得らるゝか其の説く所は決して政治家の政治論ではない思想の善導を以て君の説くに任ずたゞ願くは陛下の赤子をして

街中に飢死せしむるとなれば重て云ふ失業恐怖時代將に來らむとす願くは陛下の赤子をして街頭に飢死せしむるなかれと(をばり)



淋病 皮膚病 婦人病
梅毒 十二指 腸虫病
門專 腸胃病 胃性痛
院醫科 院醫科
電話(七〇一)

けふ石城郡聯合青年團体育大會

残暑をものともせず

各選手大奮闘

第六回石城郡聯合青年團体育大會は本午前十時より警中校庭に於て開催、是れより先き新たに調製した郡聯合青年團旗の樹立式を行へ唐十團長の挨拶あり引續き選手の入場式を舉行唐十團長の訓示、小野審判長の注意あり百米の豫選を皮切りに競技に移り左記の如き結果を示した

- ▽百米豫選
 - 一等 小林 與一
 - 二等 湯本 西田 武夫
 - 草野 渡部 富藏
 - 高久 田 仲 政 清
 - 平窪 丹 野 甚 平
 - 渡邊 高木 萬 佐
- ▽砲丸投決勝
 - 一等 好曲第一 志賀重郎
 - 二等 湯本 太田多一
 - 三等 湯本 鈴木真喜
 - 四等 永戸 阿部美枝
 - 五等 藤原 茂賀紋次郎
 - △千五百米豫選
 - 一等 渡邊 小野 初太郎
 - 草野 片 寄 周 平
 - 藤原 江 尻 茂
 - 間好一 泉 美 一
 - 三等 草野 野 一 郎
 - 湯本 田 村 勇
 - 四等 小川 鈴 木 一 賀
 - 平窪 古 川 盛 榮
 - ▽四百米豫選
 - 一等 湯本 藤 晃 雄
 - 小名 齋 藤 安 之 丞
 - 好曲一 大 槻 義 雄
 - 二等

- 平窪 鈴 木 静 雄
- 藤原 大 井 遠 平
- 小川 鈴 木 清 永
- ▽走幅跳決勝
 - 一等 湯本 西田 武夫
 - 二等 草野 高根澤 秀雄
 - 三等 藤原 相川 泰 泉
 - 四等 藤原 小池 敬 一
 - 五等 永戸 柴 崎 重 良
 - ▽リレー豫選
 - 藤原、平窪、好曲第一、湯本

- ▽一萬米決勝
 - 一等 大野後 藤 誠
 - 二等 草野 新妻 竹 雄
 - 三等 泉 山口 鏡 太郎
 - 四等 高久 大和田 勝 平
 - 五等 好曲第一 山野 唯 雄
- ▽柔道決勝
 - 一等 安 齊 利 三 郎
 - 二等 泉 山口 鏡 太郎
 - 三等 高久 大和田 勝 平
 - 四等 平 花 澤 行 雄
 - 五等 好曲第一 山野 唯 雄
- ▽百米決勝
 - 一等 湯本 西田 武 夫
 - 二等 草野 渡邊 富藏
 - 三等 平窪 小 林 與 一
 - 四等 平窪 丹 野 甚 平
 - 五等 渡邊 高木 正 雄
- ▽四百米決勝
 - 一等 小名 齋 藤 安 之 丞
 - 二等 好曲第一 大槻 義 雄
 - 三等 藤原 大井 遠 中
 - 四等 平窪 後 藤 晃 雄
 - 五等 平窪 鈴 木 静 夫
- ▽千五百米決勝
 - 一等 好曲第一 泉 美 一
 - 二等 草野 片 寄 周 平
 - 三等 渡邊 小野 初 太郎
 - 四等 藤原 江 尻 茂
 - 五等 湯本 田 村 勇
- 小濱大敷休業 石城郡植田町小濱の大敷は七月下旬許可と同時に漁獲を

開始したが許可永引たるため惜くも漁期を逸し成績思はずしくないので今回一旦網を上げ修理の上秋網を入れらる事となり約廿日程休業する事となつた

平町合格者の抽籤番號

- △主計兵二番花澤行雄△歩兵二番大竹繁一、全三番加納英五、四番鈴木主計、七番遠藤七郎、四番古川武男、六番藤川慶一、八番松井始、一〇番番和知秀好、九五番佐藤武、一二番馬場昇、一三四番小泉廣、一四七番神忠存、一四八番青木利雄、一六七番松本正一郎、一野砲六番田巻源市、二一番酒井豊
- △山砲一四番鈴木太輔△工兵四番清野卯吾、一五番渡邊盛信
- △鐵道兵鈴木三郎、一三橋一、一七番星野武、一八番國友久、二一番吉田常太郎
- △磨工卒一番小菅武雄△輜重輸卒七番山本麻四郎、一〇番石川文彌、二六番渡邊豊、三三番永山才治郎

一、四三番大谷喜兵衛、五三番金成茂、五九番佐藤良平

斷然處分

温情的に出ればつけあがる
平稅務署は炭礦業者の窮狀を察し温情をもつて礦業稅の滞納整理にあたつて居たが當業者中にはこれを幸ひに折角調達した金を他に流用するものが現れて來たのでいよいよ斷然たる處置をとることになり第一番に問題の川瀬炭礦の採掘礦區千五百圓滞納の分に對して來る三十日午前十時から稅務署において炭礦々區の公賣入札をなし更に同日試掘礦區稅四百圓滞納の東京市本郷區湯島神明町六荒井八藏所有の炭坑區も同様公賣することになつたが更に残り二十二件八千二百五十七圓九十五錢の分も漸次處分して遅くも來月中旬頃までに一段落をつけることになつた

愛兒殺し

富岡在に於て三兒を慘殺した犯人東京府下龜戸町二丁目居主諸岡はなよ(三)は富岡當に留置の上嚴重取調べを受けてゐたが事件の一切は豫審に附され其後はなよの傷も大体全治に近づいて來たので二十六日午後一時

平驛前は見物人の黒山

三十分平驛着列車で護送平刑務所に收容したが犯人はなよは二名の巡査に監視されながら下車したなよは犯人を見んとする人々で平驛前は黒山を築いた

本縣近海 鯉 豐 漁

水産試験場の警城丸は目下本縣近海の鯉漁場を調査中であるが請戸東十哩内外の地點に魚群甚だ多く五六百斤のもの五百尾二三百斤の小鯉一千五百尾釣獲して歸港した餌付は極めて良好であると尙廿二日午後二時半小名濱東々北四分一北二百五哩の海區で鮫付大群に會し僅二時間で六七百尾廻りより一貫三四百尾廻りの大鯉約二千尾釣獲し廿三日夜歸航したがこの魚群は餌付良好である魚體頗る大きいため約三分の一しか魚獲し得なかつたとの調査によつても現在近海は相當豐漁をつづけてゐる譯である

共濟委員制度に就て (三)

福島縣共濟委員 門 傳 清 吾

而して其財團は汎く地方一般の財産家慈善家其他の篤志家の理解と同情とに訴へ應分なる寄付行爲を促すこと依て二十萬圓乃至五十萬圓程度のものを造成することの肝要であり適切なる方法と思ふのであります。此財團に依り諸種の社會事業を設置し或は其他の適當なる利植の方法を講じ以て永久的に社會共濟の活動を持續し得る基礎を確立せねばならぬと思ふのであります。詳すれば貧困者に對する生計補助醫療救護生業資金融通職業紹介斡旋等の事業を完全に遂行して生活難の緩和救濟の政策を講じ進んで一般生活の改善に努め、或は社會連帶の責任觀念を高潮指導して共存共榮の社會組織を破壊するが如き詭激思想を防禦善導する社會教化機關を設くる等幾多の事業機關を設置することに於て社會救濟の目的を貫徹し得て眞に共存共榮の美譽を得て平和にして堅實なる社會を形成し得

らと思ふのであります。此意味に於て私は地方一般の資産家或は有志家に對して十分なる御諒解と御同情を得たい、而して是等の計畫ある場合には社會人類の爲め進んで其明し援助せられんことを切望して止まらんのであります。次で私は冒頭に於て掲げました秋田縣下に於ける社會事業の觀察に關し一言申上げ御参考に供したいと思ふのであります

視察の豫定は約十種の社會事業の團體で事業の性質は貧民救助感化事業、兒童保護育兒、無料診療、小資本融通、授産事業、經濟保護であるから區に於ては却て

六方面區(少ない)一方面的平均世帯數は百五十世帯であるそうですが一部落百七十世帯前後の所は便宜上其部落を一區とする所もあるようであります、斯様な組織で活動して居るようすが一方面縣では尙方面委員を約九十名に増員して二百名位とし方面區も亦十五區を増加し三十七方面區として活動の完全を期せんとし他面に於ては時々方面委員及地方の有力者を集め社會事業の性質目的を説明し或は一般的に夜間活動寫眞を以て説明し宣傳して居るようであります

明日の天気 南よりの風晴時々曇